

保健福祉学部 現代福祉学科 授業開放2023

現代福祉学科では、少子高齢社会やグローバル社会といった複雑化する現代社会において、すべての人々の健康と幸福の増進のために、能動的、創造的に貢献できるソーシャルワーカー等を育成しています。そこで、授業を通して福祉を学ぶ楽しさを知っていただくために高校生を対象にした体験授業を開催します。

開催日：2023年8月5日（土）・8月19日（土）10：00～11：40

※受付は企画開始30分前からです。

場 所：岡山県立大学 学部共通棟（南）8206教室

受講料：無料

申込期間：2023年7月1日（土）～7月28日（金） ※定員に達し次第、締め切ります

8月5日（土）

時間	申込番号	授業名	定員
10:00-10:20 (講義)	1-5	高校生のための現代福祉入門 (講師：高戸仁郎教授) 現代の社会では、様々な分野の課題が絡み合って複雑化し、個人や世帯においても複合的な支援が必要な状況も増えています。現代福祉学科では、複雑化・複合化する課題を発見し、状況を的確に分析することで課題解決に向けた実践力を持った人材を育成しています。「すべての人々の健康と幸福を増進する」とはどういうことなのか、具体例とともに一緒に考えます。	先着80名
10:20-10:55 (講義)	1-6	高校生のための社会福祉入門—孤立・孤独対策でなぜNPOが注目されるのか— (講師：岩満賢次教授) 日本は長らく、孤立・孤独の問題と向き合っています。新型コロナウイルス感染症の蔓延を経て、国は孤立・孤独対策という政策を開始しました。この政策は各国で展開されており、その主な担い手はNPOです。日本の社会福祉は、家族による助け合いが中心であり、それが難しい場合には国家による支援があります。今なぜNPOなのか、この意味について一緒に考えます。そして、岡山県立大学で実践するNPOでのボランティアを通じた学び（サービスマーケティング）についても紹介します。	先着80名
11:05-11:40 (講義)	1-7	介護福祉士だからできること —4年制大学における介護福祉学・保健福祉学・マネジメント学を融合した学びの特徴と将来像— (講師：佐藤ゆかり・趙敏廷・若林美佐子・喜村仁詞准教授) 介護福祉実践はサイエンスです。ご本人が捉えておられる「地域で暮らすこと」を科学的に分析し、根拠に基づきケアを提供します。4年間で広く深くマネジメント学も含めて学修し、生活と社会を支える専門家として活躍する道筋をイメージできる講義・演習です。	先着80名

8月19日（土）

時間	申込番号	授業名	定員
10:00-10:20 (講義)	2-5	高校生のための現代福祉入門 (講師：高戸仁郎教授) 現代の社会では、様々な分野の課題が絡み合って複雑化し、個人や世帯においても複合的な支援が必要な状況も増えています。現代福祉学科では、複雑化・複合化する課題を発見し、状況を的確に分析することで課題解決に向けた実践力を持った人材を育成しています。「すべての人々の健康と幸福を増進する」とはどういうことなのか、具体例とともに一緒に考えます。	先着80名
10:20-10:55 (講義)	2-6	今、地域で起きていること —「新書」から学ぶ地域福祉— (講師：口村淳 准教授) 健康格差、認知症、ヤングケアラー、8050、買い物難民、ゴミ屋敷など、私たちの暮らす地域では様々な問題が取沙汰されています。本講義では、「新書」というジャンルの書籍（173mm×106mmの教養本）を活用し、地域で起きている様々な問題の本質について、クイズ形式で解説していきます。	先着80名
11:05-11:40 (講義)	2-7	生き方としての精神保健福祉入門—「社会的入院」の現状と課題— (講師：坂野純子 教授) 人々の健康を守る人間社会の営みを、医療者や専門家に任せておけばよいという時代はもう終わっています。そのためこれからの時代の保健医療の利用者になる学生にとって、保健医療や環境や社会とのより良い関係を築き、さらにそれらをよりよく変えていくための見識ともいうべきクリティカル（科学的批判的な）な考え方を学ぶことがますます重要になっています。本講義では「社会的入院」の現状と課題について取り上げます。	先着80名